

製品名: Apg12(Atg12)ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83957**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 15 kDa ; Observed MW: 22,55 kDa

抗原情報

遺伝子名	Apg12(Atg12)
別名	APG12-like; APG12L; ATG12; Autophagy 12; Autophagy-related protein 12; FBR93; HAPG12; Ubiquitin-like protein ATG12;;ATG12
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O94817
免疫原	ヒト ATG12 由来の合成ペプチド

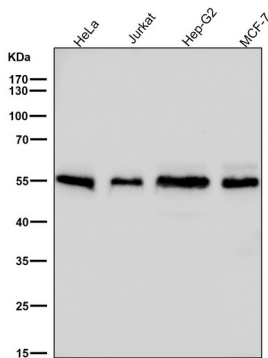
背景

オートファジー小胞の形成に関与するユビキチン様タンパク質。E1 様活性化酵素である ATG7 と E2 様結合酵素である ATG10 を含むユビキチン様結合系を介して ATG5 と結合することが、その機能に必須である。

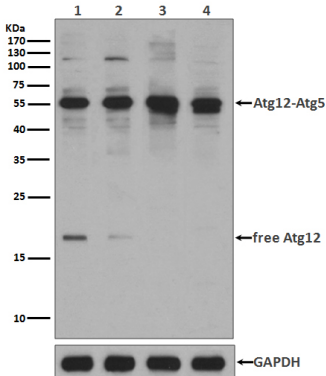
研究分野

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



293 細胞溶解物中の Apg12(ATg12) 発現のウエスタンブロット解析。



ピロロキノリンキニーネは、血管内皮細胞におけるリソソーム-ミトコンドリア軸を介してドキシソルビシン誘導性オートファジー依存性アポトーシスを軽減する。-毒性学

